

北海道市町村振興協会

いきいき通信

2018年12月3日発行

第10号



公益財団法人 北海道市町村振興協会

060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目2番地 北海道自治会館6階

電話:011-232-0281 ホームページ:<http://www.do-shinko.or.jp/>

ハロウィンジャンボ宝くじの販売状況等について

10月19日(金)に39代目幸運の女神、新竹紗帆さんが当協会を訪れました。当協会訪問後、札幌市内の宝くじ売り場を2カ所訪問するとともに、ハロウィンジャンボ宝くじをPRするため2つのテレビ局で番組に出演していただきました。

平成30年度のハロウィンジャンボ宝くじ等は、10月1日から23日までの23日間販売されました。販売総額は昨年に比べ全国で28%増、北海道でも25%増となりました。北海道への収益配分額は7億19百万円となり、昨年度に比べ1億61百万円、29%増加しました。

市町村には、時効金と合わせて平成31年2月中旬に交付する予定です。



Topics 協会事業のお知らせ

北海道・市町村交流職員研修会を実施しました

「平成30年度北海道・市町村交流職員研修会」(後援・北海道、北海道市長会、北海道町村会)を11月8日、札幌市中央区のホテルポールスター札幌で開催しました。研修会には北海道と市町村との交流職員等約160人が参加し、講演に熱心に耳を傾けていました。

講演Ⅰでは、住宅・土地政策が専門の富士通総研経済研究所主席研究員の米山秀隆氏から「急増する空き家とこれからのまちづくり」をテーマに、全国の空き家の現状について説明を受けるとともに「空き家対策には、問題のある空き家の解体と、まだ活用できる空き家の有効利用といった方向性がある。また、今後は『まちのスポンジ化』といったまちづくりの観点での対応や老朽化したマンションの問題が増えてくる」などのお話がありました。

講演Ⅱでは、地方自治・公共政策・食によるまちづくりが専門の長野県立大学グローバルマネジメント学部教授・公共経営コース長の田村秀氏から「観光による地域振興について」をテーマに「よそ者の視点を前面に押し出すことが重要。地方創生に取り組むためには小異を捨て大同につくべきで、これからは、コラボの時代となる。また、ご当地グルメでも、地域の資源を再発見することが肝要」といったお話がありました。

なお、講演の要旨は、平成31年1月発行の市町村政策情報誌プラクティスに掲載します。





市町村職員道外先進事例研修を実施しました

「平成30年度市町村職員道外先進事例研修」は、11月11日～14日の4日間の日程で、17市町村から17人の職員が、千葉県鋸南町、埼玉県横瀬町・小鹿野町の3町を訪問しました。



都市交流施設・道の駅『保田小学校』

鋸南町では、廃校となった小学校を「都市交流施設・道の駅『保田小学校』」として再生し、体育館を使った直売所、教室を使った宿泊施設など、年間販売額6億円、200事業者の参入、50人の雇用、12万人の交流客を創出した取組について理解を深めました。

横瀬町では、町をオープンにして町外から人、モノ、金、情報を呼び込むため、町に民間の事業やプロジェクトを誘致するプラットフォーム「よこらぼ」の取組について、富田能成町長からご説明をいただきました。

小鹿野町では、町立病院の隣に保健福祉センターを開設し、町の保健福祉課の配置等により、保健、福祉、医療、介護サービスの部門を一つの建物に集約し、後期高齢者の1人当たりの医療費が埼玉県内で一番少ない元気な町となった取組について、研修しました。

小鹿野町では、町立病院の隣に保健福祉センターを開設し、町の保健福祉課の配置等により、保健、福祉、医療、介護サービスの部門を一つの建物に集約し、後期高齢者の1人当たりの医療費が埼玉県内で一番少ない元気な町となった取組について、研修しました。



災害見舞金を交付しました

9月6日に発生した北海道胆振東部地震で被災した5市町に対して、復旧対策の促進が図られるよう、全半壊した住家戸数や避難状況等に応じて「災害見舞金」を交付しました。また、11月12日には、全国市町村振興協会からも「市町村災害支援金」が交付されました。

	北海道協会	全国協会
北広島市	100万円	30万円
厚真町	500万円	480万円
安平町	500万円	200万円
むかわ町	100万円	85万円
日高町	100万円	30万円



宮坂厚真町長（左）に目録を手渡す棚野理事長



市町村アカデミー等研修受講助成金の申請開始受付は1月中旬頃を予定

市町村アカデミー、国際文化アカデミー、建設研修センター、下水道事業団研修センターの研修を受講した市町村職員を対象に助成を行います。昨年度からは、建設研修センターと下水道事業団研修センターでの研修が追加となっており、公務による特別職（市町村長や議員、嘱託職員、非常勤職員等）の受講も対象となります。交付要綱をご確認の上、申請漏れのないようお願いいたします。

なお、平成31年1月中旬に各市町村に電子メールで申請受付についてお知らせします。

今後の主な行事予定

※当協会の年末年始休暇は、平成30年12月29日（土）から平成31年1月6日（日）までとなっております。

ジャンボ宝くじ等の普通くじが宝くじ公式サイト（インターネット）で購入できるようになりました！

詳しくは <https://www.takarakuji-official.jp> へ